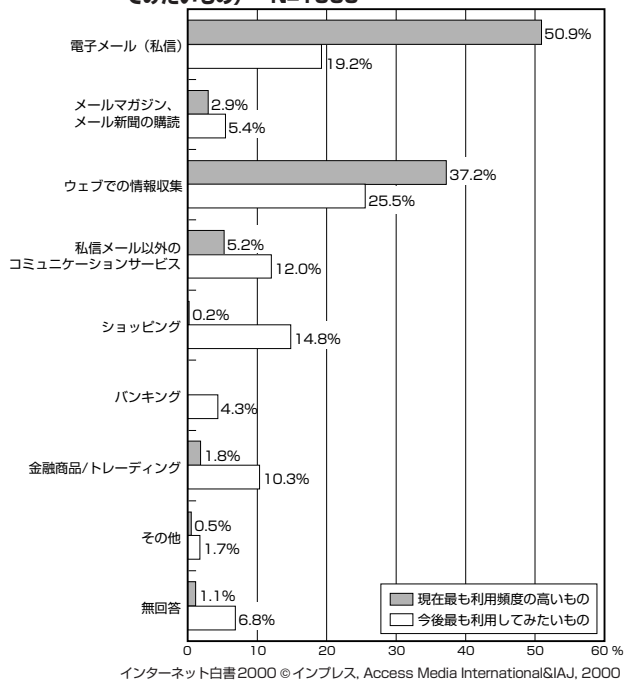
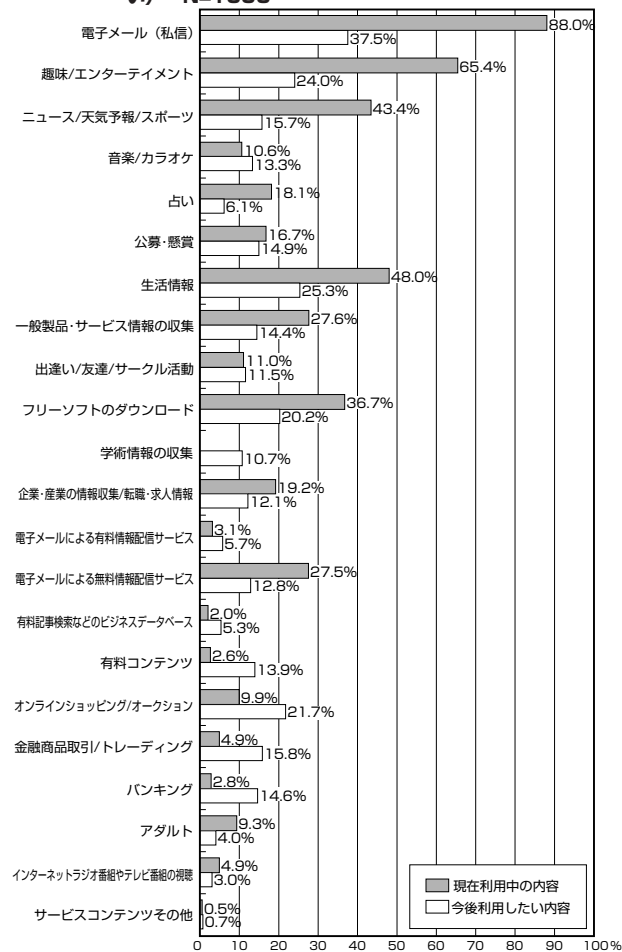


資料 1-2-5 利用内容（現在最も利用頻度の高いもの/今後最も利用してみたいもの） N=1666



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料 1-2-6 利用サービスコンテンツ内容（現在利用中/今後利用したい） N=1666



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

解説

今回の調査では、利用内容をより詳しく理解するために、利用者の利用内容を大分類と小分類の2段階に分けて聞いている。特に小分類ではサービスコンテンツ系とコミュニケーション系の内容をさらに詳しく分類して聞いている。

現在最も利用頻度が高いのは「電子メール」(50.9%)と「ウェブでの情報収集」(37.2%)であり、他とは大きな差がある。今後利用してみたいコンテンツも同様に「電子メール」(19.2%)、「ウェブでの情報収集」(25.5%)が高い。しかし、現在の利用では0.2%であった「ショッピング」については14.8%、1.8%の「金融商品取引/トレーディング」が10.3%、また「私信メール以外のコミュニケーションサービス」も12.0%と今後の利用意向が高くなっており、現在のインターネット利用者の中に今後積極的に用途を広げたいという意向があることがうかがえる。

小分類として、ここでは特に電子メールとサービスコンテンツ系をグラフ化した。現在利用中の内容としては例年通り「電子メール（私信）」(88.0%)、「趣味/エンターテイメント」(65.4%)、「生活情報」(48.0%)、「ニュース/天気予報/スポーツ」(43.4%)、「フリーソフトのダウンロード」(36.7%)などが上位を占める。また、今後利用したい内容としては大分類でも明らかになったように「オンラインショッピング/オークション」(9.9%→21.7%)、「金融商品取引/トレーディング」(4.9%→15.8%)、「バンキング」(2.8%→14.6%)などが現在の利用状況と比較して高くなっている。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp